

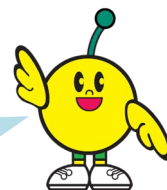
小中学生向け10の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ



福島を応援する「ペコ太郎」

福島県では、昔大きな地震があったみたいだけど、今はどうなっているのかな？
ニュースや新聞では「**廃炉**」や「**処理水**」ってよく見るけど、なんだか難しそうだなあ…

そんな福島についての疑問を、わかりやすく紹介したのが、「**小中学生向け10の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ**」なんだ！
10の疑問に分かれていて、最後には**クイズ**もあるみたいだよ。



福島県復興シンボルキャラクター「キビタン」

10の疑問

- (1) 地震と津波の被害はどれくらいだったの？
- (2) 原子力災害はどんなものだったの？
- (3) 放射性物質ってなんだろう？
- (4) 廃炉作業ってなんだろう？
- (5) ALPS処理水ってなんだろう？
- (6) 避難指示等区域ってなんだろう？
- (7) 福島の食べ物はどうなったの？
- (8) 福島の観光はどうなったの？
- (9) 福島イノベーション・コースト構想ってなんだろう？
- (10) 風評被害ってなんだろう？

掲載ページ二次元コード



ページ例

ふくしま復興のあゆみ

10の疑問から学ぶ

ふくしま復興のあゆみ

◇小中学生向け◇

各地の産品と被害状況

この地震でなくなった人は、4,179人※(2024年11月1日時点)。そのうち、地震・津波が直接の原因でなくなった人は1,605人で、そのほとんどが津波によってなくなった方なんだ。また、その後の避難生活などで体調を崩してなくなった方は2,348人で、このようにしてなくなってしまうことを、「**震災関連死**」というよ。

※死者が不明という人が、とくなくのりをして隠れている方が226名を数える

福島県 10の疑問から学ぶ 復興のあゆみ

2024年12月27日発行

① 地震と津波の被害はどれくらいだったの？

2011年3月11日の地震は、マグニチュード9.0を記録し、国内観測史上最大級の地震だったんだ。福島県では**最大震度6強**を記録し、地震で建物が崩れたり、土砂が崩れたりもしたんだ。海沿いの地域は、津波で大きな被害を受けたよ。

各地の震度と被害状況

震度別被害状況

震度6強 震度6弱 震度5強 震度5弱 震度4強 震度4弱 震度3強 震度3弱 震度2強 震度2弱 震度1強 震度1弱

地震被害：須賀川市

津波被害：白河市

津波被害：浪江町

津波被害：いわき市

④ 廃炉作業ってなんだろう？

原子力発電所は、今は「**廃炉**」に向けて作業が進められているよ。廃炉とは、原子力発電所の運転を停止して、解体することをいうんだ。今は、主に**4つの作業**に分けて進められているよ。全て終わるまでには、30年から40年かるといわれているよ。

廃炉作業の内容

① 使用済燃料プールからの燃料取り出し

② 燃料デブリの取り出し

③ 汚染水対策

④ 高レベル放射性廃棄物の処分

- ・ 震災から13年以上が経過し、風化が進む中で、若い世代への**記憶と教訓の継承**が課題となっています。
- ・ 未曾有の複合災害の記憶と教訓を「**自分事**」として捉え、復興に向けて挑戦を続ける本県の姿を学ぶきっかけを作るため、復興の状況を分かりやすくまとめた資料です。
- ・ 復興に関する**10の疑問**に答える形で、説明には図や写真、グラフを多く使用するなど、小中学生にも分かりやすい内容としていますので、是非ご覧下さい。

お問合せ先

福島県 企画調整部 復興・総合計画課 E-mail fukkoukeikaku@pref.fukushima.lg.jp